

別府市民フィルハーモニア管弦楽団

6月16日 日 [13:30 開場
14:00 開演]

第30回 | 定期演奏会

別府ビーコンプラザ フィルハーモニアホール
一般1,000円 学生[高校生以下]500円



BCPO
Beppu Citizens Philharmonic Orchestra
別府市民
フィルハーモニア
管弦楽団

同郷の指揮者による熱演!
チェコ出身のドボルザークと



指揮 アントニン・キューネル
Conductor: Antonin Kühnel

ピアノ 渡邊智道 (別府市出身)
Piano: Tomomichi Watanabe

管弦楽 別府市民フィルハーモニア管弦楽団
Orchestra: Beppu Citizens Philharmonic Orchestra

Program
プログラム

F・ショパン

ピアノ協奏曲第1番 木短調 作品11

●別府市制100周年を祝して オーケストラ版編曲・初演!!

團伊玖磨 作曲 河野敦朗 編曲

行進曲「べっぷ」

A.ドボルザーク 交響曲第9番 木短調 作品95

「新世界より」

Dvořák
From the New World

主催/別府市民フィルハーモニア管弦楽団実行委員会 オフィシャルパートナー/別府ビーコンプラザ 後援/別府市
お問い合わせ/別府市民フィルハーモニア管弦楽団実行委員会事務局 TEL0977-24-3887
別府市文化国際課 TEL0977-21-1131
チケット取り扱い/別府市文化国際課・別府ビーコンプラザ・トキハ会館3階プレイガイド・トキハ別府店・エトウ南海堂
(有)カネトウ楽器・(株)グレイス楽器・西日本弦楽器・(株)ミュージックストアナガト

未就学のお子様の入場は
ご遠慮ください



@BEPPU_PHIL Instagram

Artist Profiles



管弦楽：別府市民フィルハーモニア管弦楽団

Orchestra: Beppu Citizens Philharmonia Orchestra

別府市内で活躍する音楽家とこれを支援する県内外の音楽家により、1993年10月に「別府市民交響楽団」として結成。1995年には世界的ピアニスト、マルタ・アルゲリッチとも共演した。2003年6月には「10周年記念特別演奏会」でベートーヴェンの「第九(合唱付)」を演奏し、好評を得る。毎年2回開催する別府ビーコンプラザでの演奏会は、市民に親しまれる恒例行事となっている。市内の小・中学校でミニコンサートを行うなど、音楽の普及活動にも力を入れている。2014年から毎年、別府市「音泉タウン音楽会」に出演。2016年4月より現名称に変更。

指揮：アントニン・キューネル Conductor: Antonin Kühnel



1941年チェコの首都プラハに生まれる。プラハ国立音楽院においてピアノ専攻。1971年チェコスロバキア、オルシュミツ国際指揮者コンクール第二位受賞。イランのテヘラン歌劇場音楽監督就任中、武蔵野音楽大学客員教授として来日。1976年新星日本交響楽団指揮者に就任。1979年帰国。マリヤンスケラズニ交響楽団常任指揮者就任。また、プラハ国立音楽院でオーケストラ指導、及び和声学を指導。1982年再び武蔵野音楽大学に着任。その後、岐阜教育大学音楽部客員教授、大阪教育大学音楽学部客員教授を歴任。これまでに日本フィル、新日本フィル、東京シティフィル、山形交響楽団、関西交響楽団、大阪シンフォニカー、京都交響楽団、神奈川フィル、ニューフィル千葉、韓国コリアン、フィル等、数多くオーケストラを指揮。2003年よりチェコより優秀なソリストを招きコンサートを企画し、彼らのピアノ伴奏も勤める。現在、ベルカウント室内管弦楽団首席指揮者。

現在、千葉県市川市在住。

ピアノ：渡邊智道 Piano: Tomomichi Watanabe



大分県別府市出身。東京を拠点に、各地で協奏曲客演、独奏、伴奏、室内楽のピアニストとして演奏。2019年に、アルバム「バッハ&ショパン」をリリース。使用楽器は、1887年製ニューヨーク・スタインウェイ「ローズウッド」。2021年、アルバム「Classic Recording」をリリース。使用楽器は、ホロヴィッツと世界ツアーを共にした1912年製ニューヨーク・スタインウェイ「CD75」。作曲家として、歌曲集「井月の歌」、二つの相聞～芥川龍之介の詩による～、合唱組曲「雨」～八木重吉の詩による～、三つの幻想的民謡～ピアノ四重奏のための～…などを書き、初演されている。合唱指揮、文筆、映画や広告の音楽制作なども手掛ける。毎週日曜日8時より、ポッドキャストにて、インターネットラジオ「酒と泪と男とピアノ」配信中。

編曲：河野敦朗 Arranger: Atsuro Kono



東京生まれ。東京芸術大学作曲科卒業。卒業と同年に発表した作品が朝日新聞、音楽誌で評価されデビューとなる。以後、日本現代音楽協会などで現代音楽を中心に作品を発表し続ける。2008大分国体開会式典音楽作曲、2018大分国民文化祭開会式音楽、及び皇室入退場音楽作曲。北九州国際音楽祭オープニングガラコンサート・オーケストラ編曲。2024年6月予定の、大分の「RENTARO室内オーケストラ九州」ヨーロッパ公演の編曲担当(滝廉太郎「四季」の編曲)。その他、大阪センチュリーオーケストラ公演にアンコール曲提供、元N響コンサートマスター篠崎氏の演奏会の編曲参加、NHK「みんなのうた」編曲、NHKラジオドラマ音楽担当、クラシック・ポップスのコンサートのオーケストラ編曲、吹奏楽曲委嘱、合唱曲委嘱・出版(音楽の友社)、TVコマーシャル、ロックバンドへの楽曲提供などで活動。大分県立芸術文化短期大学音楽科で作曲コース教授を務め、退官後、同短期大学名誉教授。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会、関西現代音楽交流協会会員。高槻音楽家協会副会長。現在、大阪府高槻市在住。

